

令和5年2月3日

国土交通省中部地方整備局

インフラ分野のDXを担う人材育成の拠点

— 中部インフラDXセンター”企業展示ブース”を開設します —

令和4年6月から、一般の方にも向けて常時オープンしている、中部インフラDXセンターの1F体験エリアにおいて、第1回中部DX大賞等を受賞した各企業が取り組んでいるDXの最新技術を展示するスペースを設けました。今後、受賞した企業の展示を行っていくお知らせとなります。

◎中部DX大賞とは

中部地方整備局では、建設ICTをはじめ様々な分野で、データとデジタル技術を活用し、インフラ分野のDXに取り組んでいます。民間・行政といった分けに縛られることなく、優れた取組を表彰し、広く紹介することで技術開発の促進や更なるDXの普及を加速することを目的に「中部DX大賞」を創設したものです。

1. 期間

第一期間：令和5年2月7日（火）～令和5年2月17日（金）まで

第二期間：令和5年2月21日（火）～令和5年3月17日（金）まで（予定）

第一期：株式会社奥村組

第二期：株式会社建設環境研究所（予定）

開館時間：10:00～16:00

※毎月曜日は休館日、12:00～13:00は昼休み

2. 場所

名古屋市東区大幸南1-1-15

中部地方整備局中部技術事務所内 中部インフラDXセンター（体験エリア）

3. 添付資料

別添1 施設紹介

4. その他

●施設の見学について

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、マスクの着用、事前の検温にご協力をお願いします。

5. 配布先

中部地方整備局記者クラブ、中部専門記者会

問い合わせ先

国土交通省 中部地方整備局	中部技術事務所
副 所 長	田中 昌次（たなか しょうじ）
技術活用・人材育成課長	内藤 元弥（ないとう もとや）
（技術活用・人材育成課）	TEL：052-723-5704
	FAX：052-723-5790

中部インフラDXセンター（体験エリア）に来場を！ ～6月より週4日（火～金曜:10時～16時）常時オープン～

インフラ分野のDXを担う人材育成の拠点として、令和3年5月に中部技術事務所構内に開所したインフラDXセンターは、体験エリア（1F）と研修エリア（2F）で構成されており、体験エリアでは、DXに関する様々な最新機器等を実際に見て触って体験頂ける施設となっています。

6月より、より広く利用頂けるように、週4日（火～金曜：10時～16時）常時オープンしますので、名古屋市内にご用の際は、是非、お立ち寄り下さい。

※各設備の体験・説明が必要な場合は事前予約願います。

（施設の見学のみの場合は事前予約の必要はありません。）

【お問合せ先】

技術活用・人材育成課 E-mail : cbr-dxk-cg@mlit.go.jp TEL(052)723-5704

中部インフラ DXセンター

【所在地】〒461-0047

名古屋市東区大幸南1丁目1番15号（中部技術事務所構内）

【アクセス】地下鉄名城線「ナゴヤドーム前矢田駅」で下車、
1番出口より徒歩1分



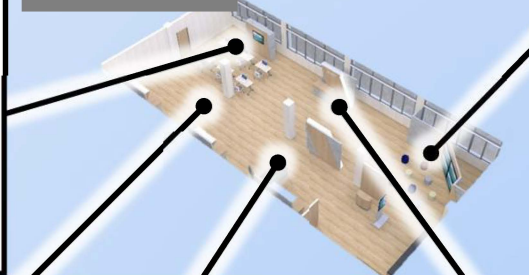
【施設紹介】

企業展示ブース



DX大賞等を受賞した企業がインフラ分野のDXについて最新の技術を紹介します。

1階 体験エリア

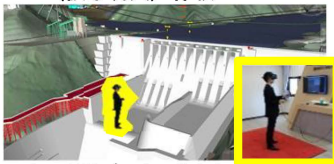


事例紹介等を動画で紹介



大型モニターによるWeb会議やパネルディスカッションもできます。

VR（仮想現実）体験



3次元設計データで作られた空間へ入る体験ができます。不具合の有無や完成したイメージの確認、安全対策の検討などの体験ができます。

遠隔操作技術紹介



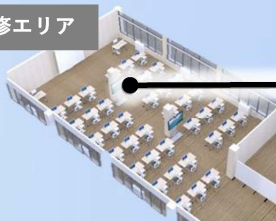
危険な場所など離れた安全な場所から、遠隔で建設機械を操作する技術を紹介します。

AR（拡張現実）体験



現地で簡単、安全に図面などのデータ確認ができる体験として、埋設物が風景と重ね合わせて表示される端末やスマートグラス（カメラ付眼鏡型表示端末）の体験ができます。

2階 研修エリア



研修エリア



3次元の設計ソフトが使えるPCや大型モニター、スクリーンのある研修エリアです。

高速・大容量通信設備を用いて、災害復旧では現地に即時に高度な技術支援も行う施設です。